

## 当社製バイオディーゼル燃料のオセアニア向自動車船への供給について

当社は、船舶燃料供給を手掛ける豊田通商株式会社（以下「豊田通商社」）に当社が製造するバイオディーゼル燃料※ 1 を販売して参りましたが、このほど、トヨフジ海運株式会社（以下：トヨフジ海運）が運航する外航船舶「DREAM JASMINE（以下：ドリームジャスミン）」に対し、豊田通商のグループ会社である豊田通商マリンフューエル株式会社を通じて、バイオディーゼル燃料（以下「バイオ燃料」）の供給を行いました。

ドリームジャスミンは、10 月 27 日に名古屋港で Ship to Ship 方式※によりバイオ燃料の供給を受け、翌日オセアニア（豪州・NZ 航路）へ向けて出港しました。このバイオ燃料は、豊田通商により低硫黄 C 重油に 24% 混合されたもので、既存の化石燃料と比較し CO<sub>2</sub> 排出量の 20% の削減が期待されます。

### 1. 背景と今回の取り組みについて

内航船舶については、令和 3 年度国土交通省関係補正予算の「内航船カーボンニュートラルの推進に向けた調査」としてトヨフジ海運の内航 自動車運搬船「とよふじ丸」を実証船として、当社が豊田通商社を通じてバイオ燃料を供給し、バイオ燃焼混合重油による航行実証試験が行われ、低硫黄 C 重油と比較して通常のオペレーションで問題なく利用できることが確認されました。

今回は外航船舶として、トヨフジ海運の運航する船舶向けに豊田通商を介してバイオ燃料の販売を開始することで、外航船舶での需要拡大の端緒となることと期待しています。

なお、このバイオ燃料の原料はトヨタグループや豊田通商グループ企業の社員食堂等から回収した廃食用油を原料の一部としており、企業グループを通じてのサーキュラーエコノミー（循環型経済）への取組みの先進的な事業モデルとして期待が寄せられています。

当社は廃食用油をバイオ燃料化する事業を通じて、各産業分野での廃棄物と GHG の削減に寄与できるよう、高品質バイオ燃料の安定供給に今後とも努めてまいります。

※バイオディーゼル燃料(Bio Diesel Fuel, BDF)

植物油脂のメチルエステル化により精製される軽油代替燃料で、石油由来の重油や軽油の代替燃料として期待される。原料である植物が育成する過程で Co<sub>2</sub> を吸収することから、ライフサイクルでカーボンニュートラルの扱いとされる。



写真はバイオ燃料の補給を受ける「ドリームジャスミン」

## 2. 当社の本事業へのこれまでの取組み

- ・2012年：飲食店等から回収した廃食用油由来のバイオ燃料の製造・販売を開始。
- ・2015年～2022年：名古屋市から依頼を受け、市内16区の約80か所のスーパーマーケットに市民から持ち込まれた廃食用油を回収し、これを原料にバイオ燃料を製造、名古屋市営バス・ごみ収集車に供給。  
(<https://contents.xjstorage.jp/xcontents/AS95701/7765b0bd/50bb/4c65/ae53/5d690ca68eb8/20220418161723032s.pdf>)
- ・2021年：豊田通商社を通じてトヨタ輸送株式会社向けにバイオ燃料を供給。
- ・2022年4月：豊田通商社を通じて日本郵船株式会社の関連会社である三洋海事株式会社が運行するタグボート向けにバイオ燃料を供給。  
(<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS95701/0e85175f/0237/4239/b0ec/ccb5f2b527a8/140120220405517464.pdf>)
- ・2022年9月：豊田通商社を通じて、令和3年度国土交通省関係補正予算の「内航船カーボンニュートラルの推進に向けた調査」の一環として行われた、バイオ燃料を配合したトライアル運行向けに供給実施。  
(<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS95701/4c565ddd/0762/4fd7/ac65/1c10d6b434af/140120220909530907.pdf>)
- ・2023年5月：当社製バイオディーゼル燃料の商用化ベースでの継続的な販売開始について。  
(<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS95701/a0eeb6f9/8f92/4da9/be70/78e64c3f79b1/140120230502558019.pdf>)

参考：「船舶におけるバイオ燃料取り扱いガイドライン」（令和5年3月）船舶におけるバイオ燃料取り扱いガイドライン策定検討会 国土交通省海事局

[https://www.mlit.go.jp/maritime/maritime\\_tk7\\_000048.html](https://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_tk7_000048.html)

【本件のお問い合わせ先】

株式会社ダイセキ環境ソリューション 資源循環事業部 水野 052-819-5310